if brand

Trywin

取扱説明書（保証書付）

車載用地上デジタルチューナー

DTF-7600

地上 DIGITAL　1seg ワンセグ

保証書添付

このたびはトライウイン車載用地上デジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

　この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』（2 ～ 5 ページ）は、ご使用の前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも取り出せるところに巻末の『保証書』とともに大切に保管してください。

事故防止のため、運転中は絶対にテレビを見たり、操作をしたりしないでください。

この商品は、海外ではご使用になれません。This unit is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

安全上のご注意

お使いになる本人や周囲の人々への危害、物的損害を未然に防止するため、ここに示す内容をお読み頂き、必ずお守りください。
製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のとおりです。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って考えられる内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり、財産に損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（例）

⚠	気をつけていただく必要がある内容を示しています。
禁止	してはいけない内容を示しています。
	かならずしていただきたい内容を示しています。

⚠ 危険

禁止 本体を、運転時の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など、運転に支障をきたす場所や同乗者に危険を及ぼす場所に取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

禁止 エアバックの動作を妨げる場所には絶対に設置しない

エアバックの正常な動作を妨げ、事故やけがの原因となります。

禁止 運転者は走行中に操作をしたり、テレビを見たりしない

走行中に操作をすると事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行ってください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品 (ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど) が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

⚠ 警告

DC12V マイナスアース車で使用する

本機は DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24V 車）には使用できません。火災や故障の原因となります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

禁止

傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因となることがあります。

使用しないコードの先端などはテープなどで絶縁する

被覆のない部分が車の金属部に接触すると、ショートして火災や感電の原因となります。

配線･取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす

バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショートして火災や感電の原因となります。

パーキングブレーキ端子の配線を正しく行う

安全機構が働かないと、交通事故の原因となります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類･タンク･電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。

正しく配線を行う

誤った配線をすると発火や事故の原因となります。特にリード線はねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し、固定してください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル、足などに巻き付かないように引き回し、まとめて固定しておくなどしてください。事故や、けがの原因となります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

禁止

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

分解や改造はしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理はサポートセンターにご依頼ください。

異物を入れない

禁止

機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災や感電の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

禁止

煙が出る、異臭がするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。直ちに使用を中止してサポートセンターにご相談ください。

電池などの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐ医師にご相談ください。

必ず規定容量のヒューズを使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。ヒューズの交換はお買い上げの販売店などの専門技術者にご依頼ください。

本体の通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

走行中は適正な音量で使用する

車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

車載以外には使用しない

禁止

車載以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火・感電やけが、故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したらアンテナ線や本体には触れない

禁止

感電の原因となります。

本体やリモコンをぬらしたりしない

禁止

火災や感電の原因となります。

リモコンを放置しない

禁止

運転中に足もとに落ちてブレーキペダルなどの下へ入りこむと、運転を妨げて交通事故の原因となります。

⚠ 注意

配線・取り付け / 取りはずしは、専門技術者に依頼する

取り付けと配線は、専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。

電池を入れるときには、極性表示 (プラスとマイナスの向き) を守る

機器の表示通り正しく入れてください。間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれたりするなど、事故や故障、火災の原因となることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

禁止

直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や事故の原因となることがあります。

車のバッテリーから電源をとっている場合は、エンジンを停止したままで長時間使用しない

禁止

車のバッテリーがあがる恐れがあります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり、傷つけない

禁止

ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

水がかかる所やほこりの多い所に取り付けない

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

取り付けについて

- 本機は運転の支障にならない場所に設置してください。
- 車内は非常に高温になることがあります。ダッシュボードの上、ヒーターの通風口、カーペットの下など高温が予想される場所には設置しないでください。
- 本機は、横向きや斜めにならないように水平な場所に設置してください。
- 取付の際に、本機の角などでけがをしないようご注意ください。

お使いになるときは

- エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めた状態で長時間使用するとバッテリーが消耗します。
- リモコンの置き場所にご注意ください。リモコンがブレーキペダルの下などに挟まると運転に支障をきたす恐れがあります。
- 走行中は運転者が外の音を聞き取れるような音量に設定し、後部座席などで映像をお楽しみください。
- 正しく接続された場合、本機はパーキングブレーキの ON/OFF と連動します。必ず車を停止させてから視聴してください。

お手入れ

- お手入れをするときはエンジンを完全に切った状態にし、柔らかい布で拭いてください。汚れのひどいときは家庭用中性洗剤を薄めてしみこませた布でていねいに拭き取ってください。

デジタル放送の受信について

- デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画像が止まったり、またはブロックノイズ（モザイク状の四角いノイズ）が出たりすることがあります。
- 車での移動中は受信状態が常に変化します。車の場所や、位置により受信しにくくなることがあります。
- 番組にコピーガードがかかっている放送を、録画機器を通してモニターに接続すると、正常に受信できないことがあります。本機はモニターテレビに直接接続してください。
- 本機の受信周波数帯域（470 MHz ～ 770 MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本体やアンテナ、アンテナケーブルの近くで使用すると、映像や音声に不具合が生じることがあります。その場合はそれらの機器を離してご使用ください。

免責事項

- 本製品の使用または使用できなかったことによって生ずる付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機を修理するためにお預かりした場合、お客様の設定した個人データなどは消去されることがあります。
- 本機を日本国外で使用した場合、業務用（バス、タクシーなど）に使用した場合は保証の対象外となります。

目次

はじめに

安全上のご注意.....2
取り扱い上のご注意.....6
取り付けについて / お使いになるときは / お手入れ / デジタル放送の受信について / 免責事項
付属品について.....8
各部の名称と機能.....9
本体 9
リモコン..... 10
本書の読み方 11
文中の表記について / アイコンについて
デジタル放送について 12
地上デジタル放送について / ワンセグについて / 用語の説明

準備

テレビを見るための準備 13
本体の準備 / リモコンの準備 / チャンネルの準備
取り付けと配線の前に 14
取り付けと配線の準備
アンテナを取り付ける 15
まずお読みください / フィルムアンテナ取り扱い / フィルムアンテナの構造 / はり付けの際のご注意 / はり付け位置の確認 / はり付けの準備 / はり付ける / はり付けた後の処理
mini B-CAS カードを挿入する 19
挿入のしかた /mini B-CAS カードについて / mini B-CAS カード取り扱い上のご注意
接続・配線を行う.....20
本体を設置する.....21
カーペットに固定する場合 / 床などに固定する場合
リモコンの準備.....22
電池を入れる / 操作のしかた
受信チャンネルを設定する 23
設定のしかた

基本操作

電源と音量 24
電源を入れる / 電源を切る / 音量を調整する
チャンネルを選ぶ..... 25
チャンネル (数字) ボタンで選ぶ / 順送りで選ぶ / チャンネル番号で選ぶ / 番組表から選ぶ
電子番組表（EPG）を使う 26
番組表を表示させる / 番組表から番組を選ぶ / 番組の詳細情報を表示する
映像と音を切り替える..... 27
チャンネル情報を表示させる / 番組の詳細情報を表示する / 字幕を切り替える / 映像を切り替える / 映像サイズを変更する / 音声を切り替える

応用操作

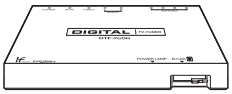
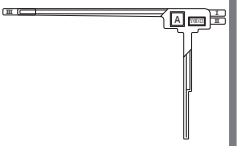
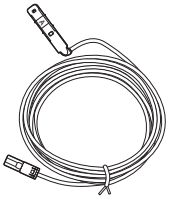
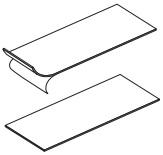
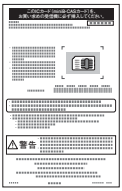
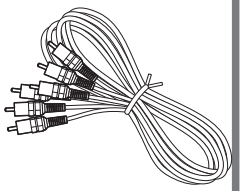
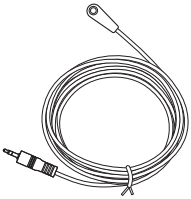
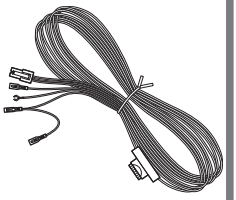
メニューを使う..... 29
メニュー中の基本操作 29
受信設定..... 30
地域設定 / チャンネル自動設定 / チャンネル追加設定 / リモコン設定 / チャンネルスキップ / モード切換設定 / 受信レベル
機器設定..... 37
暗証番号 / 字幕・文字スーパー / 音声切換 / 自動中継局サーチ / 画面サイズ設定
各種情報表示..... 43
B-CAS 情報 / バージョン情報 / 放送メール
テスト..... 45
B-CAS テスト / 全設定消去

その他の情報

故障かな？と思ったら.....47
メッセージ一覧.....48
仕様.....49
保証とアフターサービスについて..50
保証期間について / 修理に関するご相談窓口

付属品について

ご使用の前に、以下の付属品がそろっているかご確認ください。

			
チューナー本体 1 個	フィルムアンテナ 2 枚 1 組 x 2 セット	アンテナコード （約 5m） 4 本	クリーナー 2 個
			
コードクランプ 12 個	本体取り付け用テープ 2 枚 1 組 x 2 セット	mini B-CAS カ ー ド （台紙に添付） 1 枚	AV ケーブル （約 3m） 1 本
			
リモコン受光部 （約 3m） 1 個	電源用コード （約 3m） 1 本	ワイヤレスリモコン 1 個	リモコン用電池（試供品） （CR-2025） 1 個
取扱説明書 （保証書付、本書） 1 冊			

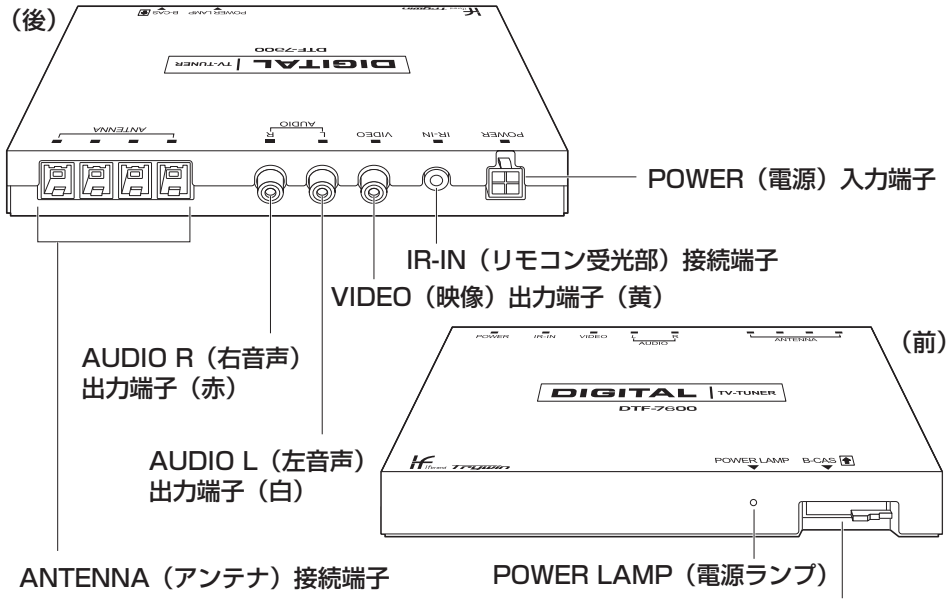
付属品の仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。
この説明書のイラストや、画面は説明用のイメージであり、実際と異なる場合があります。

各部の名称と機能

本体

⚠ご注意

●取り付けや配線には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。



POWER（電源）入力端子
電源コードを接続します。

⚠ご注意

●必ず付属の電源コードを使用してください。

IR-IN（リモコン受光部）接続端子
付属のリモコン受光部を接続します。

VIDEO（映像）出力端子（黄）
付属の AV ケーブルの黄色いプラグを接続します。

AUDIO R（右音声）出力端子（赤）
付属の AV ケーブルの赤いプラグを接続します。

AUDIO L（左音声）出力端子（白）
付属の AV ケーブルの白いプラグを接続します。

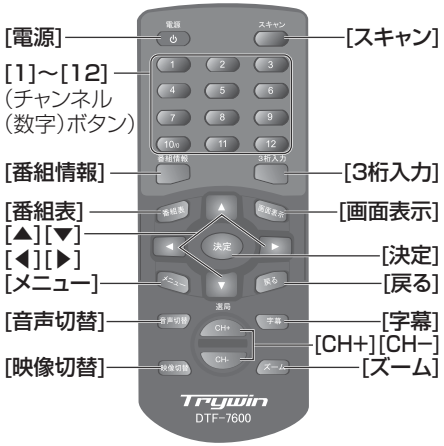
ANTENNA（アンテナ）接続端子
付属のフィルムアンテナを取り付けたアンテナコードを接続します。

POWER LAMP（電源ランプ）
電源オンの状態で点灯します。

mini B-CAS カード挿入口
mini B-CAS カードを挿入します。

各部の名称と機能

リモコン



[電源]
本機の電源を入／切します。

[1] ～ **[12]**（チャンネル（数字）ボタン）
チャンネルを直接選択します。
3 桁のチャンネル番号を入力します。

[番組情報]
視聴中の番組の詳細情報を表示させます。

[番組表]
番組表を表示させます。

[▲]/ [▼]/ [◀]/ [▶]
選択や調整を行います。

[メニュー]
メニューを表示させます。

[音声切替]
視聴中の番組が 2 カ国語放送や主／副音声放送のとき、これを切り替えます。

[映像切替]
視聴中の番組がマルチビュー放送のとき、これを切り替えます。

[スキャン]
受信チャンネルを自動で設定します。
自動中継局サーチを行います。（3 秒以上押す）

[3 桁入力]
チャンネルの 3 桁入力を行います。

[画面表示]
チャンネル情報を表示させます。

[決定]
選択を確定します。

[戻る]
ひとつ前の状態に戻ります。

[字幕]
視聴中の番組に字幕があるとき、これを切り替えます。

[CH ＋]/[CH －]
チャンネルを切り替えます。

[ズーム]
画面サイズを変更します。（本機の設定により、変更できない場合があります。）

本書の読み方

文中の表記について

本書では、リモコンのボタンや画面に表示される文字について、以下のように記しています。

リモコンボタン

[電源]/[番組情報]/[決定]

画面上の文字

暗証番号/文字スーパー/第2言語

アイコンについて

本書では、特にお知らせしたい内容を、以下のアイコンを用いて示しています。

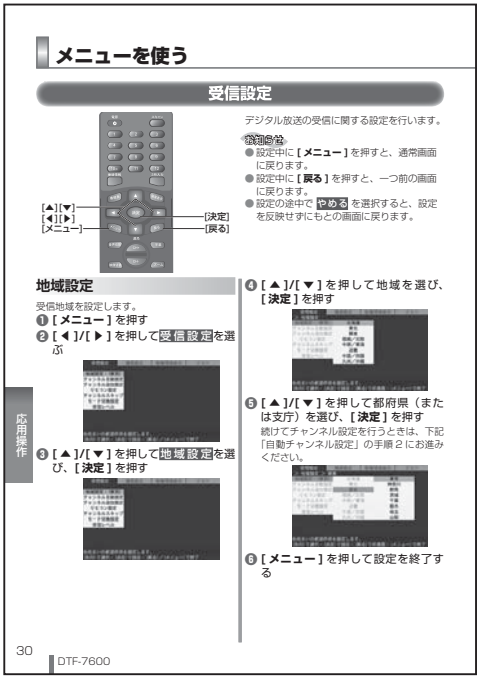
⚠ご注意

とくにご注意頂きたい点を説明する際に使用しています。お客様のけがや、機器の損害に関わる重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

例）



デジタル放送について

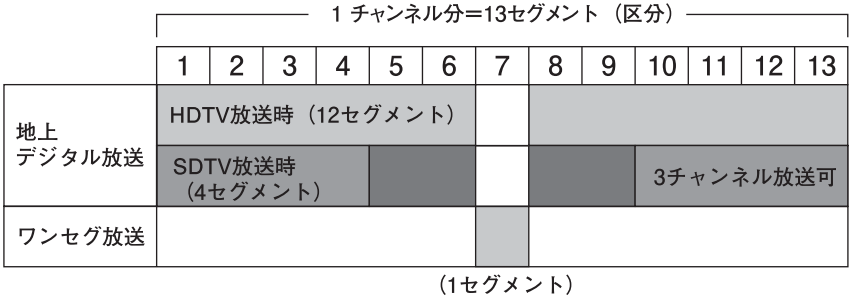
地上デジタル放送について

地上デジタル放送は関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始された、アナログ UHF 放送帯域を使用したデジタル放送です。デジタルの特長であるゴーストのない鮮明な画像と高音質、データ放送などの多チャンネル放送などを実現しています。
地上デジタル放送の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

ワンセグについて

地上デジタル放送の電波は、1 チャンネルあたり 13 のセグメント（部分）に分けられています。このうちの 1 セグメントだけを利用して、主に携帯・移動体向けにサービスを行っている放送が「ワンセグ」です。「ワンセグ」は通常地上デジタルテレビと同じ放送をしています。また、「ワンセグ」は地上デジタル放送に比べ、画質は劣るものの受信エリアが広く安定した画像と音声が楽しめます。
「ワンセグ」は、2006 年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により、順次受信可能なエリアが拡大されています。ただし、放送局によっては、「ワンセグ」が放送されない場合もあります。
本機は、一般の地上デジタル放送とワンセグの両方を受信することができます。

地上デジタル放送のイメージ



用語の説明

EPG（電子番組表）

電波の空き部分を使ってテレビ放送の画面に番組表を表示するシステムです。

枝番

受信する場所によっては同じ 3 桁のチャンネル番号で別の放送が受信できる場合があります。その場合さらに 1 桁の「枝番」が付けられ、その枝番を選ぶことによって、放送局を切り替えることができます。

緊急警報放送

地上デジタル放送、アナログ放送 BS などで緊急時に放送されるものです。

物理チャンネル

デジタル放送では実際に送信されている電波のチャンネルを物理チャンネルと呼び、リモコンなどに割り当てられる放送局のチャンネルと区別しています。

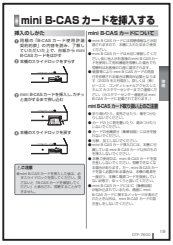
テレビを見るための準備

本機をご利用いただくには、以下の準備をしていただく必要があります。

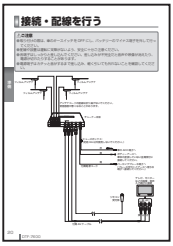
本体の準備

アンテナを取り付ける（☞ 15 ページ）

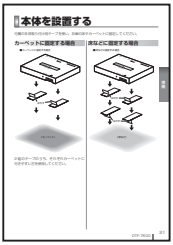
mini B-CAS カードを挿入する（☞ 19 ページ）



接続・配線を行う（☞ 20 ページ）

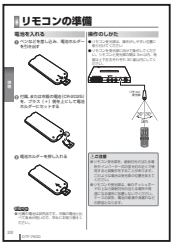


本体を設置する（☞ 21 ページ）



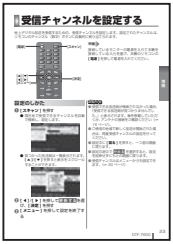
リモコンの準備

リモコンの準備（☞ 22 ページ）



チャンネルの準備

受信チャンネルを設定する（☞ 23 ページ）



準備

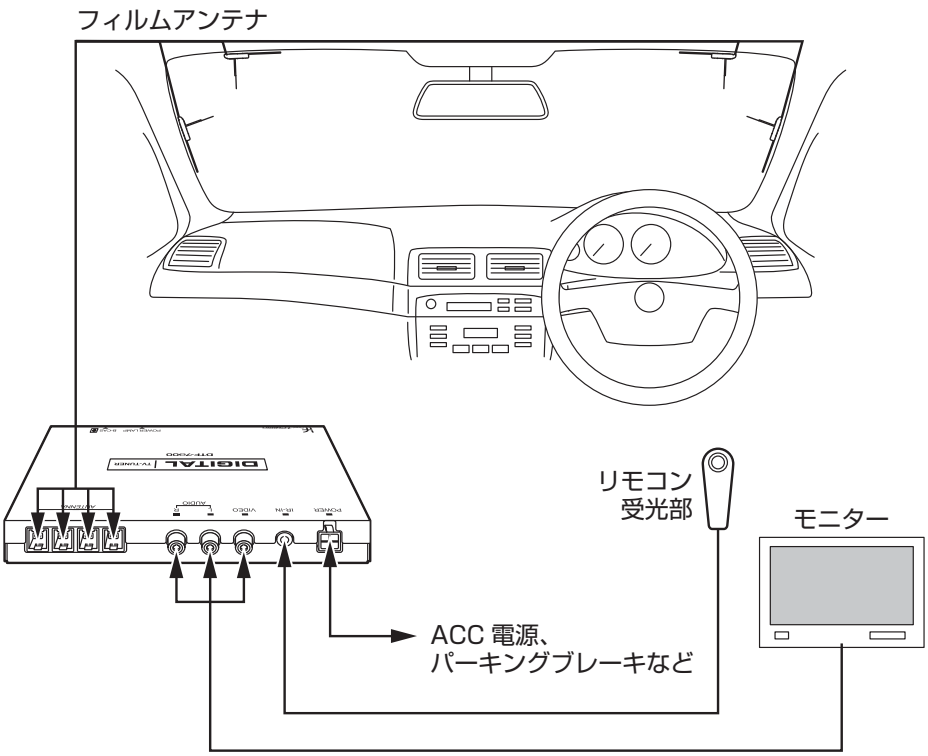
取り付けと配線の前に

⚠ご注意

●2～5ページの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全に、正しく取り付け・配線をしてください。取り付けや配線には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。

取り付けと配線の準備

本体やフィルムアンテナの取り付けや配線を行う前に、市販のテープなどで取り付けたい場所に仮止めをし、無理なく配線ができることをご確認ください。



アンテナを取り付ける

まずお読みください

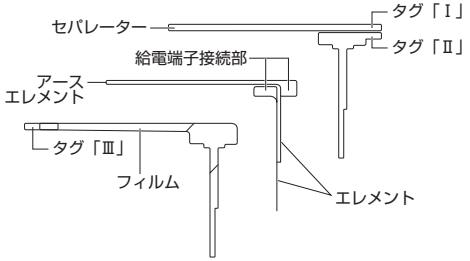
- 付属のフィルムアンテナは４つありますが、４番組同時受信するためのものではありません。
- 付属のフィルムアンテナは、トライウイン社製車載用地上デジタルチューナー専用です。その他の用途には使用しないでください。また、他社製のフィルムアンテナを本機に接続しないでください。故障の原因となる可能性があります。
- 付属のフィルムアンテナは、自動車のフロントウインドウとリアウインドウにはり付けることができますが、リアウインドウは熱線などがある場合が多いので、フロントウインドウにはり付けることをお勧めします。
- はり付け・配線のためにウインドウまわりのピラーカバーやルーフライニングを一時的に取り外す必要が有りますので、ご了承ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなどの電波を通さないガラスや、ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスにはり付けた場合、受信感度が極端に低下します。また、エアバッグをピラーに搭載している車両にはフィルムアンテナを取り付けることができません。お車をお買い上げの販売店にご確認ください。

フィルムアンテナ取り扱い

- フィルムアンテナ・アンプ・ケーブルを、アルコール・ベンジン・シンナー・ガソリンなどの揮発性のものでふかないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線などにより、受信感度が落ちることがあります。

フィルムアンテナの構造

フィルムアンテナは３層構造になっています。



はり付けの際のご注意

- 後述の「はり付け位置の確認」に従ってはり付けてください。異なった位置にはり付けると、国土交通省の定める安全基準に適合しなくなったり、受信感度が落ちたりすることがあります。
- フィルムやはく離紙をはがした面には手を触れないでください。また、長時間の放置はしないでください。汚れやほこりなどにより、接着力が落ちたり接触が悪くなったりすることがあります。
- ガラス面が結露しているときや、気温が20℃以下のときははり付かなくなります。エアコンやドライヤーなどで調整してください。

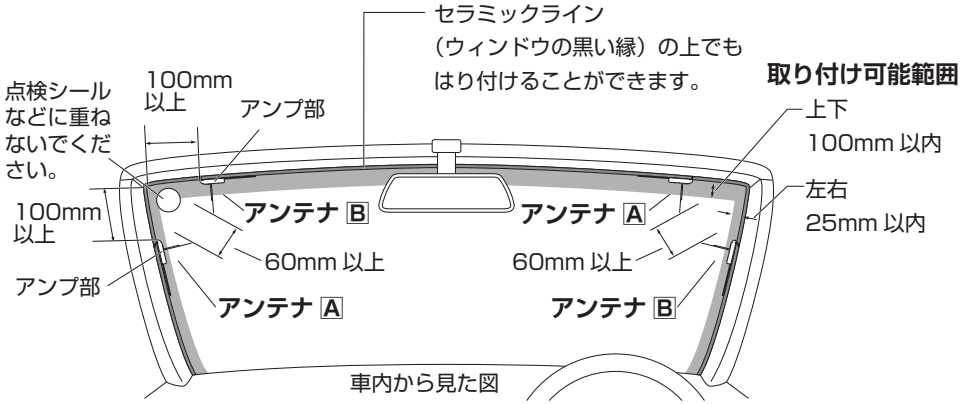
アンテナを取り付ける

はり付け位置の確認

⚠ご注意

- 国土交通省の定める保安基準（道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付けの運輸省（当時）告示第 820 号）に適合させるため、かならず図の範囲にアンプ部をはり付けてください。
- フロント（リア）ウインドウに、すでに他のフィルムアンテナがはり付けられている場合は、各アンテナ間の距離を 60mm 以上あけてください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 自動車の点検シールなどに重ならないようにしてください。

●各アンテナ間はなるべく離し、左右均等になるようにしてください。

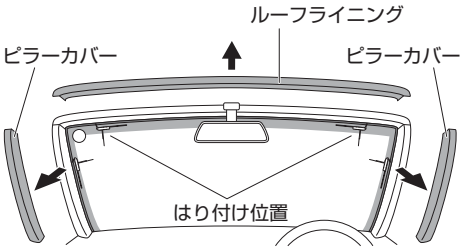


はり付けの準備

❶ アンテナや配線を仮止めし、問題なくはり付けられることを確認する

アンテナのはり付け位置は、車外よりテープなどで印を付けておいてください。

❷ ルーフライニングやピラーカバーを外す



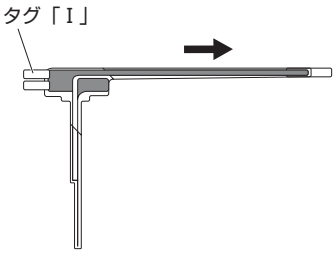
❸ ガラス内側の汚れを拭き取る

ガラスの汚れや仮止めに使ったテープののりなどを、付属のクリーナーでていねいに拭き取り、その後十分に乾燥させてください。

はり付ける

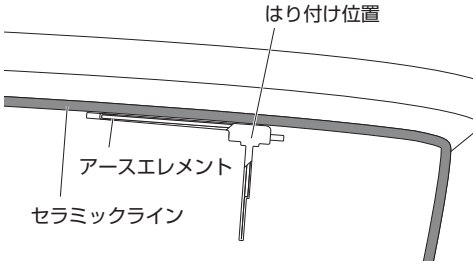
例) アンテナ A

❶ タグ「Ⅰ」を持ち、横方向にていねいにセパレーターをはがす

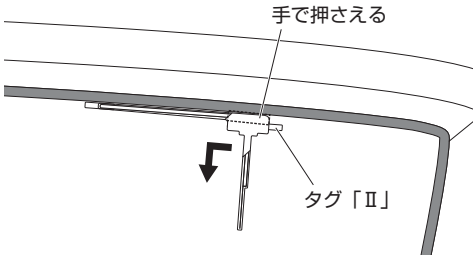


❷ あらかじめ決めておいたはり付け位置にはり付ける

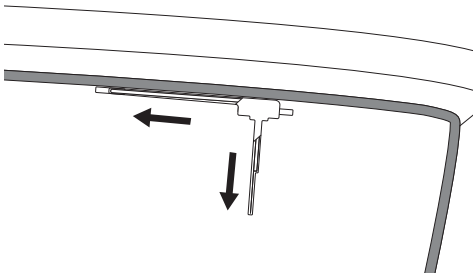
- アースエレメントがセラミックラインの端に沿うようにはり付けてください。
- セパレーターをはがした面を、空気やしわが入らないようにていねいにガラスにはり付けてください。



❸ タグ「Ⅱ」を持ち、下方向にていねいにセパレーターをはがしながら、エレメントをはり付ける



❹ 柔らかい布などでフィルムアンテナを矢印方向に強く押さえ、ガラスに密着させる



⚠ご注意

- フィルムアンテナをガラスに押しつける際、こすりつけるようにするとフィルムアンテナが損傷する可能性がありますのでご注意ください。

お知らせ

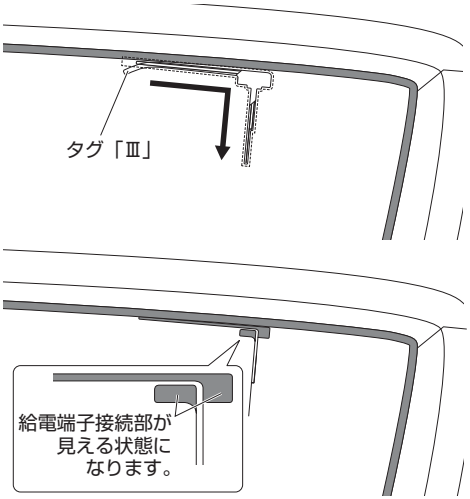
- エレメントが十分にガラスに密着していないと、フィルムをはがすときにエレメントがはがれてしまうことがあります。特に給電端子接触部は空気が入りやすいので、念入りに押しつけてください。空気が入っているかどうかは、自動車の外側からご覧いただくと、容易にご確認いただけます。

アンテナを取り付ける

はり付ける（つづき）

❺ タグ「Ⅲ」を持ち、矢印方向にていねいにフィルムをはがす

エレメントがはがれる場合はいったんフィルムを戻し、強く押しつけた後、再度フィルムをはがしてください。

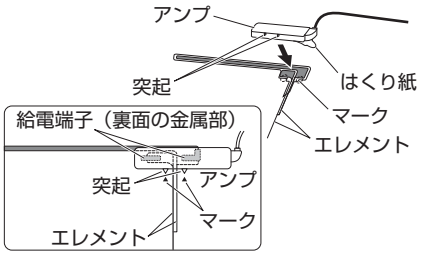


⚠ご注意

●給電端子接続部には、手を触れたりガラスクリーナーをかけたりしないでください。接触不良の原因となります。

❻ アンプをエレメントにはり付ける

アンプのはくり紙をはがし、アンプの突起とフィルムアンテナのマーク（▲）が合うようにはり付けてください。



⚠ご注意

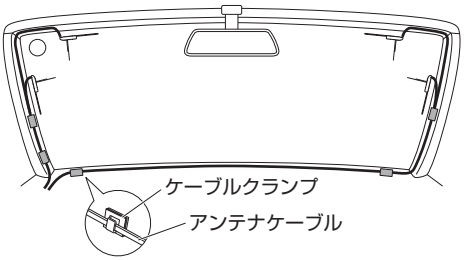
●給電端子が図の位置からずれないようにご注意ください。

●必ず、アンテナ Ⓐ のエレメントには「A」のアンプを、アンテナ Ⓑ のエレメントには「B」のアンプをはり付けてください。

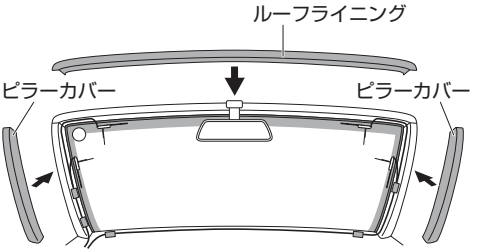
❼ 他の 3 本のアンテナも同様にはり付ける

はり付けた後の処理

❶ 付属のケーブルクランプを使ってアンテナケーブルを引き回す



❷ ルーフライニング・ピラーカバーをもとに戻す



❸ アンテナコードを本体に接続する

⚠ご注意

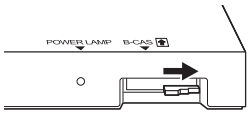
●アンテナケーブルは、他のケーブルや電源コードなどからできるだけ離してください。

mini B-CAS カードを挿入する

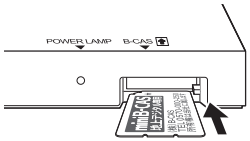
挿入のしかた

❶ 同梱の「B-CAS カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から mini B-CAS カードをはがす

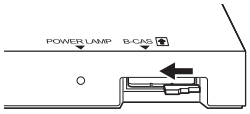
❷ 本機のスライドロックをずらす



❸ mini B-CAS カードを挿入し、カチッと音がするまで押し込む



❹ 本機のスライドロックを戻す



⚠ご注意

●mini B-CAS カードを挿入した後は、必ずスライドロックを戻してください。戻さないと「B-CAS カードを確認してください」と表示され、視聴することができません。

mini B-CAS カードについて

- mini B-CAS カードには視聴情報などが記録されますので、本機に入れたままご使用ください。
- mini B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人がお客様の mini B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも視聴料はお客様の口座に請求されます。
- 破損等により mini B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります（2009 年2月現在）。詳しくは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先は mini B-CAS カードに記載されております。）

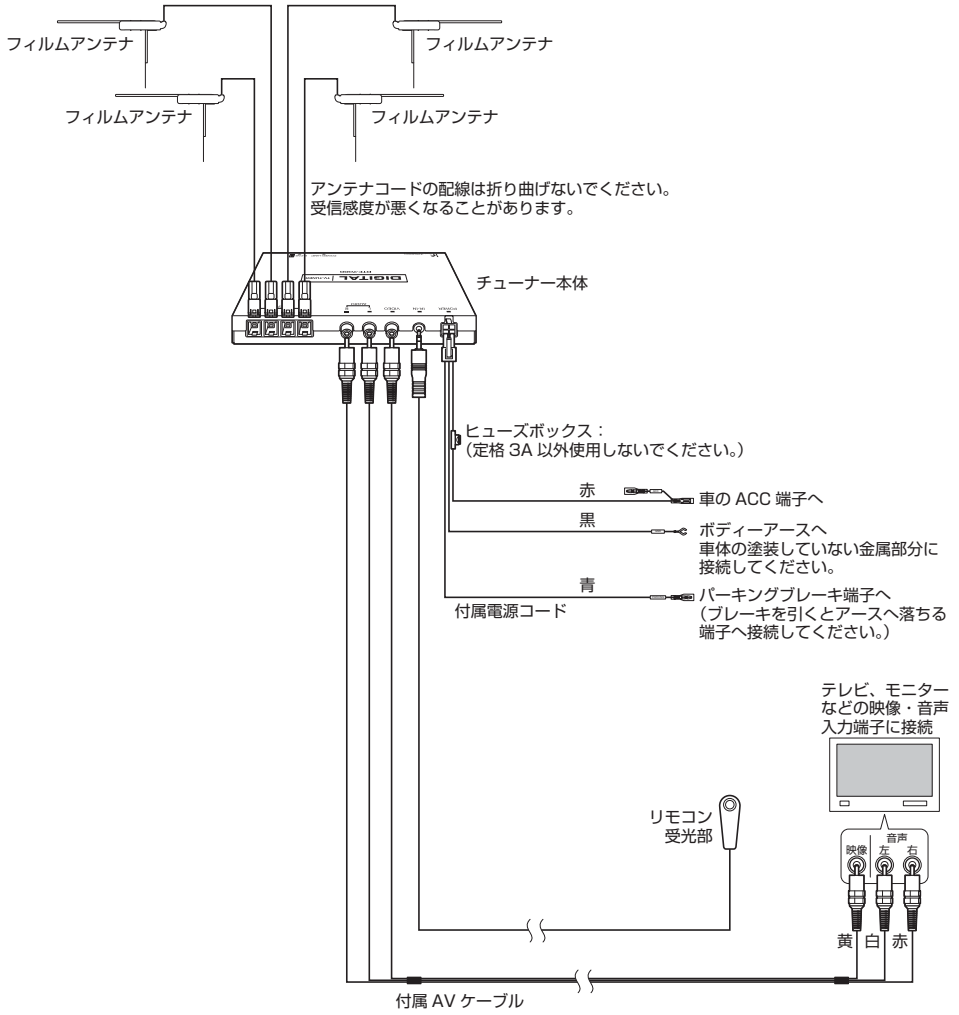
mini B-CAS カード取り扱い上のご注意

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- カードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- カードの金属部分（集積回路）には手を触れないでください。
- 分解、加工しないでください。
- mini B-CAS カード挿入口には、本機に付属している mini B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、mini B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、mini B-CAS カードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機に電源コードを接続していない状態で、ゆっくりと抜いてください。
- mini B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に mini B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、mini B-CAS カードの抜き差しをしないでください。

接続・配線を行う

⚠ご注意

- ●取り付けの際は、車のキースイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外して行ってください。
- ●配線や設置は運転に支障がないよう、安全に十分ご注意ください。
- ●各端子はしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全だと音声や映像が消えたり、電源が切れたりすることがあります。
- ●電源端子はカチッと音がするまで差し込み、軽く引いても外れないことを確認してください。

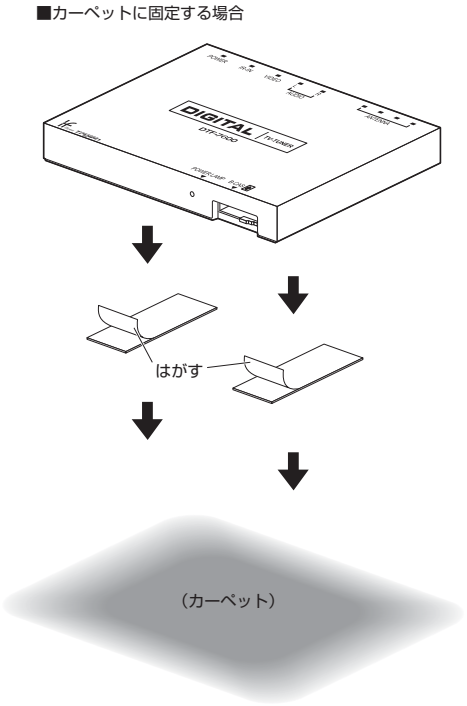


本体を設置する

付属の本体取り付け用テープを使い、お車の床やカーペットに固定してください。

カーペットに固定する場合

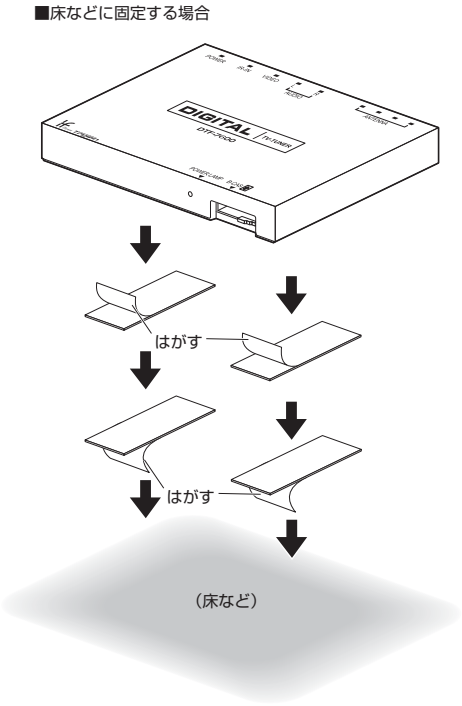
■カーペットに固定する場合



2 組のテープのうち、それぞれカーペットに付きやすい方を使用してください。

床などに固定する場合

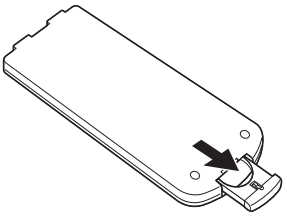
■床などに固定する場合



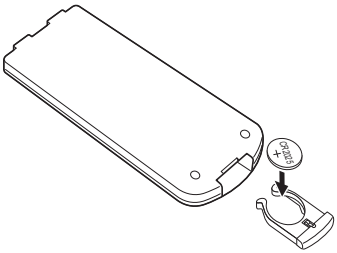
リモコンの準備

電池を入れる

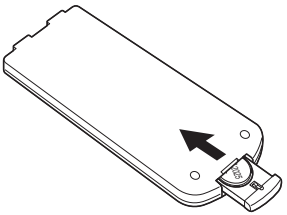
❶ ペンなどを差し込み、電池ホルダーを引き出す



❷ 付属、または市販の電池（CR-2025）を、プラス（＋）側を上にして電池ホルダーにセットする



❸ 電池ホルダーを押し入れる

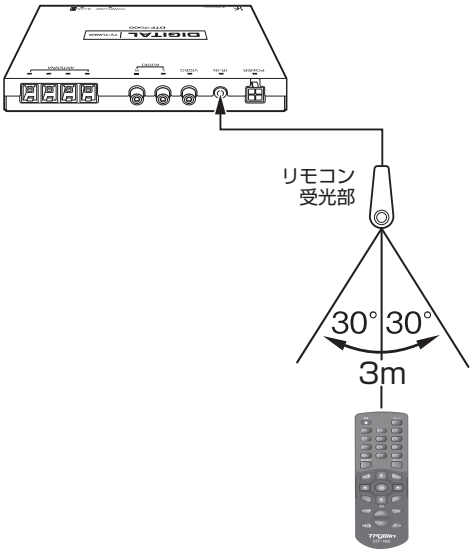


お知らせ

- 付属の電池は試供品です。市販の電池と比べて寿命が短いので、早めにお取り替えください。

操作のしかた

- リモコン受光部は、操作がしやすい位置に取り付けてください
- リモコンを受光部に向けて操作してください。リモコンと受光部の間は 3m 以内、角度は上下左右それぞれ 30 度以内にしてください。



⚠ご注意

- リモコン受光部を、直射日光の当たる場所やインバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。このような場合は受光部の位置を変えてください。
- リモコンや受光部は、車のダッシュボードの上など直射日光の当たる場所や高温になる場所に放置しないでください。ケースの変形、電池の破損や液漏れなどの原因となります。

受信チャンネルを設定する

地上デジタル放送を受信するための、受信チャンネルを設定します。設定されたチャンネルは、リモコンのチャンネル（数字）ボタンに自動的に割り当てられます。

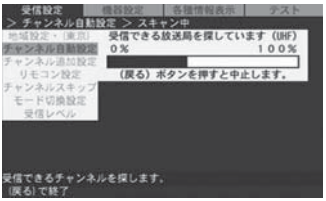
準備

接続しているモニターの電源を入れて本機を接続している入力を選び、本機のリモコンの **[電源]** を押して電源を入れてください。

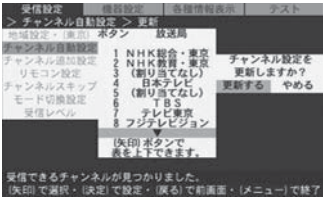
設定のしかた

❶ **[スキャン]** を押す

● 現在地で受信できるチャンネルを自動で検索し、設定します。



● 見つかった放送局は一覧表示されます。**[▲]/[▼]** を押すと表示をスクロールすることができます。



❷ **[◀]/[▶]** を押して 更新する を選び、**[決定]** を押す

❸ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

- 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。車を移動していただくか、アンテナの接続をご確認ください（☞ 15 ページ）。
- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合は、再度受信チャンネルの設定を行ってください。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。
- 受信チャンネルはメニューからも設定できます。（☞ 30 ページ）
- 車の移動などによって視聴中のチャンネルの受信状態が悪くなったときは、**[スキャン]** を 3 秒以上押すことで他の中継局を検索することができます（**[戻る]** を押すと解除します）。また、受信感度が落ちて 1 分以上受信ができないときに、自動で他の中継局を探すように設定することもできます。（☞ 41 ページ）

電源と音量

準備

接続しているモニターの電源を入れ、本機を接続している入力を選んでください。

電源を入れる

❶ 車のエンジンをかける（ACC ON にする）

❷ **[電源]** を押す

電源ランプが点灯します。

電源を切る

[電源] を押す

電源ランプが消灯します。

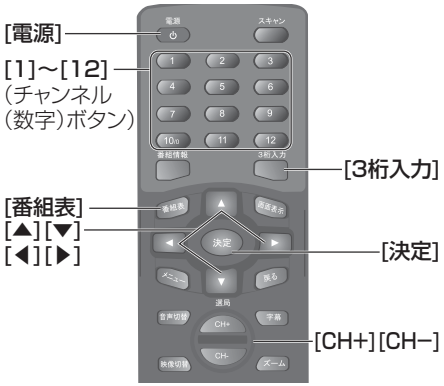
お知らせ

- 車のエンジンを切って（ACC OFF）も、電源が切れます。
- 電源ランプが消えるまで 3 ～ 4 秒かかることがあります。

音量を調整する

接続しているモニターを操作し、音量を調節してください。

チャンネルを選ぶ



準備

接続しているモニターの電源を入れて本機を接続している入力を選び、本機のリモコンの **[電源]** を押して電源を入れてください。

チャンネル (数字) ボタンで選ぶ

[1] 〜 **[12]**（チャンネル（数字）ボタン）のいずれかを押す

順送りで選ぶ

[CH ＋]/**[CH −]** を押す
押すごとに、チャンネルが切り替わります。

チャンネル番号で選ぶ

❶ **[3 桁入力]** を押す
❷ チャンネル（数字）ボタンを押して 3 桁のチャンネル番号を入力し、**[決定]** を押す

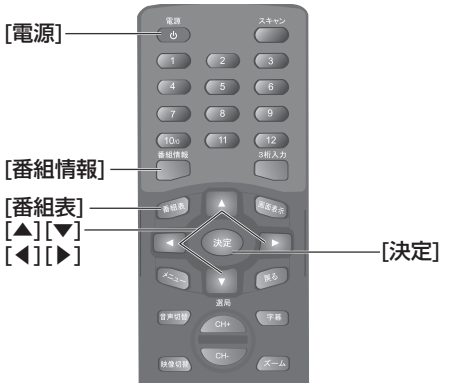
番組表から選ぶ

❶ **[番組表]** を押す
❷ **[▲]**/**[▼]**/**[◀]**/**[▶]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 地上デジタル放送では 3 桁のチャンネル番号がつけられています。番組表などには、この 3 桁のチャンネル番号が表示されます。通常は 3 桁のチャンネル番号の上位 2 桁の値がリモコンのチャンネル（数字）ボタンと一致するようなチャンネルの割り当てになります。例えば、3 桁チャンネル番号が「021」ならば、リモコンのチャンネル(数字)ボタンの [2] に割り当てられます。
- 3 桁チャンネル番号は放送局ごとに割り当てられています。放送地域が変わってもチャンネル番号は変わりません。隣接する他の地域の放送局が受信できる場合は、他の地域の放送局がリモコンのチャンネル（数字）ボタンの空き番号に割り当てられます。
- 地上デジタル放送では、一つの放送局が複数のチャンネル番号を持ち、それぞれ別の番組を同時に放送することがあります。このような場合は、3 桁のチャンネル番号で番組を選ぶか、チャンネル（数字）ボタンで放送局を選んだ後、**[CH ＋]**/**[CH −]** を押して番組を選んでください。
- 本機では、「受信チャンネルを設定する」（☞ 23 ページ）で 16 局までの放送局が登録できます。放送局が 12 以上見つかった場合は、チャンネル（数字）ボタンに割り当てられない放送局がありますので、このような場合は、**[CH ＋]**/**[CH −]** を押してチャンネルを選んでください。

電子番組表（EPG）を使う



電子番組表（EPG）は、新聞のテレビ欄のような番組一覧を表示する機能です。

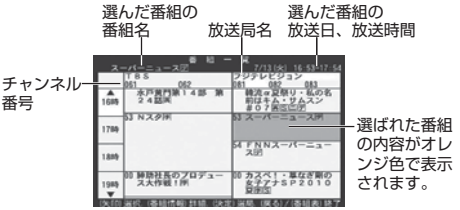
準備

接続しているモニターの電源を入れて本機を接続している入力を選び、本機のリモコンの **[電源]** を押して電源を入れてください。

番組表を表示させる

[番組表] を押す

- 現在から 3 時間後までの番組表が表示されます。



- もう一度 **[番組表]** を押すと、もとの画面に戻ります。

お知らせ

- 番組表データが取得できていないときは、「データ取得中です。しばらく待って操作してください」と表示されます。このような場合は、1 分ほど待って操作をやり直してください。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。そのため、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

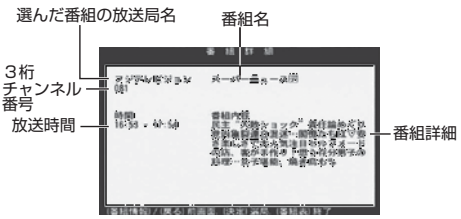
番組表から番組を選ぶ

1. **[番組表]** を押す
2. **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

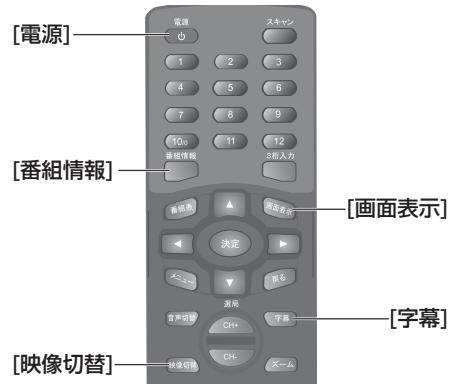
番組の詳細情報を表示する

1. **[番組表]** を押す
2. **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して番組を選び、**[番組情報]** を押す

   番組の詳細情報が表示されます。



映像と音を切り替える



準備

接続しているモニターの電源を入れて本機を接続している入力を選び、本機のリモコンの **[電源]** を押して電源を入れてください。

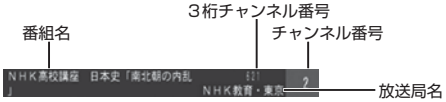
お知らせ

- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。そのため、実際の放送と表示された内容が一致しないことがあります。

チャンネル情報を表示させる

[画面表示] を押す

- 視聴中の番組名、放送局名、チャンネル番号などが 5 秒間表示されます。

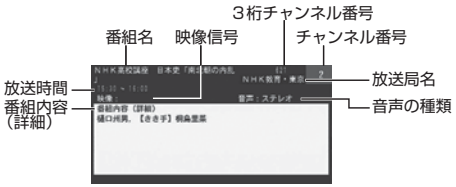


- もう一度 **[画面表示]** を押すと、もとの画面に戻ります。

番組の詳細情報を表示する

[番組情報] を押す

- 視聴中の番組名、内容、放送時間、映像信号、音声の種類などが 15 秒間表示されます。



- もう一度 **[番組情報]** を押すと、もとの画面に戻ります。

字幕を切り替える

[字幕] を押す

押すごとに、字幕放送の字幕表示を切り替えます。選択項目は番組により異なります。

お知らせ

- 字幕放送に対応していない番組を視聴中に **[字幕]** を押すと、字幕なしと表示されます。
- 字幕はメニューからも設定できます。（☞ 39 ページ）

映像を切り替える

[映像切替] を押す

押すごとに、マルチビューに対応した番組の映像を切り替えます。

お知らせ

- 選択項目は番組により異なります。

映像と音を切り替える

準備

接続しているモニターの電源を入れて本機を接続している入力を選び、本機のリモコンの **[電源]** を押して電源を入れてください。

映像サイズを変更する

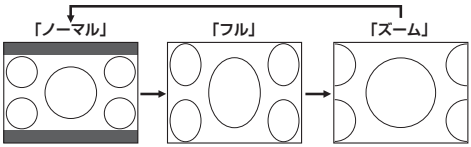
[ズーム] を押す

押すごとに、以下のように切り替わります。

ノーマル：元の映像（16：9）の上下に黒帯をつけて表示します。映像の縦横比は変わりません。

フル：元の映像を上下に引き伸ばして画面全体に表示します。縦長の映像になります。

ズーム：元の映像の中央部分を上下左右に引き伸ばします。映像の縦横比は変わりません。



お知らせ

- メニューの「画面サイズ設定」が **ワイド** に設定されている場合、**[ズーム]** は機能しません。

音声を切り替える

[音声切替] を押す

押すごとに、番組ごとに設定された音声を切り替えます。

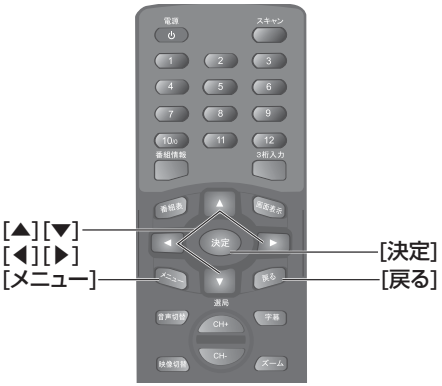
お知らせ

- 選択項目は番組により異なります。
- 音声はメニューからも設定できます。（☞ 40 ページ）

メニューを使う

メニューを使うことで、本機をお好みの状態に設定することができます。

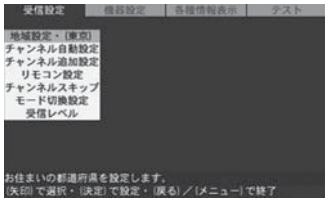
メニュー中の基本操作



準備

接続しているモニターの電源を入れて本機を接続している入力を選び、本機のリモコンの **[電源]** を押して電源を入れてください。

❶ **[メニュー]** を押してメニューに入る



❷ **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して項目を選び、**[決定]** を押す

❸ **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して選択・調整し、**[決定]** を押す

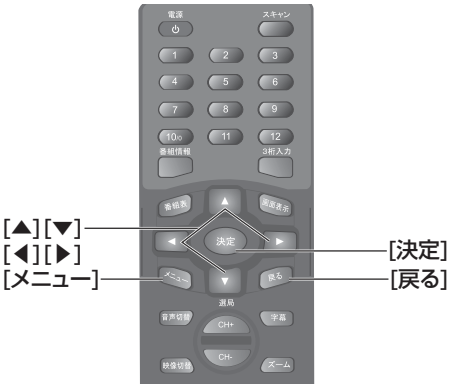
❹ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

メニューを使う

受信設定



デジタル放送の受信に関する設定を行います。

お知らせ

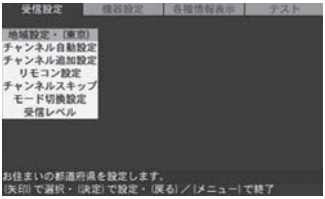
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

地域設定

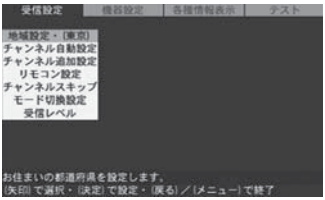
受信地域を設定します。

❶ **[メニュー]** を押す

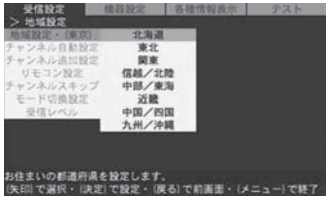
❷ **[◀]/[▶]** を押して 受信設定 を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して 地域設定 を選び、**[決定]** を押す

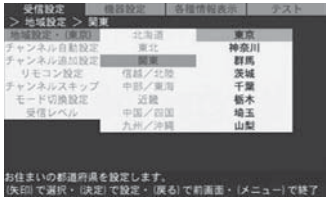


❹ **[▲]/[▼]** を押して地域を選び、**[決定]** を押す



❺ **[▲]/[▼]** を押して都府県（または支庁）を選び、**[決定]** を押す

続けてチャンネル設定を行うときは、下記「自動チャンネル設定」の手順２にお進みください。



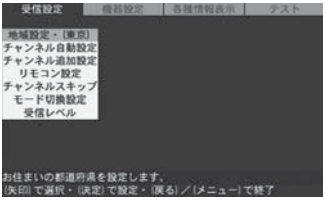
❻ **[メニュー]** を押して設定を終了する

チャンネル自動設定

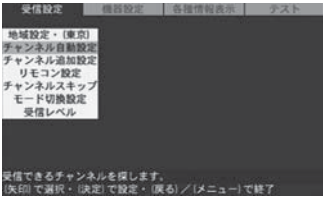
受信チャンネルを自動で設定します。

❶ **[メニュー]** を押す

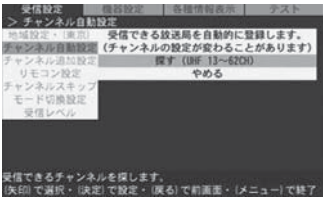
❷ **[◀]/[▶]** を押して**受信設定**を選ぶ



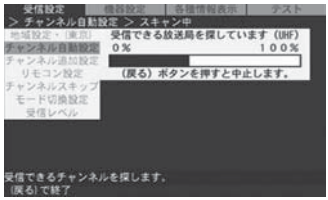
❸ **[▲]/[▼]** を押して**チャンネル自動設定**を選び、**[決定]** を押す



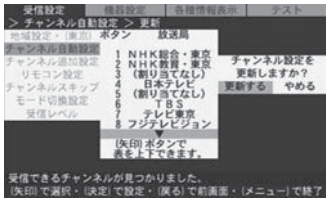
❹ **[▲]/[▼]** を押して**探す(UHF 13～62CH)**を選び、**[決定]** を押す



● 現在地で受信できるチャンネルを自動で検索し、設定します。



● 見つかった放送局は一覧表示されます。**[▲]/[▼]** を押すと表示をスクロールすることができます。



❺ **[◀]/[▶]** を押して**更新する**を選び、**[決定]** を押す

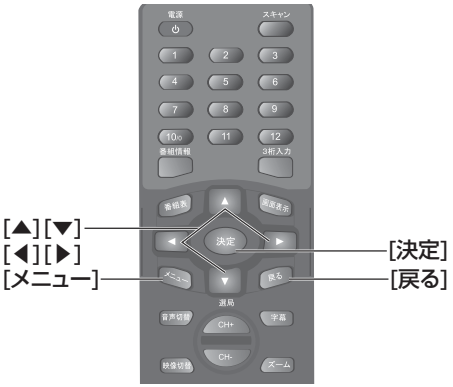
❻ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

- 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。アンテナの接続をご確認ください（☞ 15 ページ）。
- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合は、再度受信チャンネルの設定を行ってください。

メニューを使う

受信設定（つづき）



デジタル放送の受信に関する設定を行います。

お知らせ

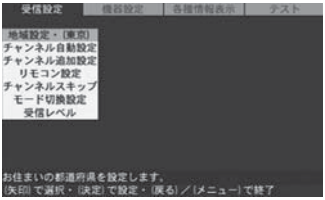
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

チャンネル追加設定

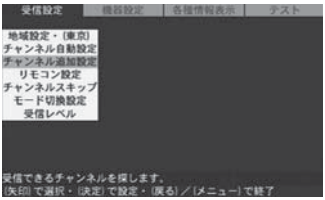
チャンネル自動設定を行った後、さらに追加できるチャンネルを探します。

❶ **[メニュー]** を押す

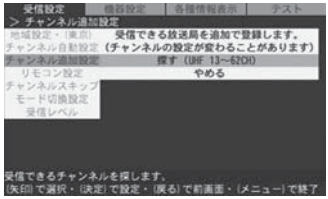
❷ **[◀]/[▶]** を押して受信設定を選ぶ



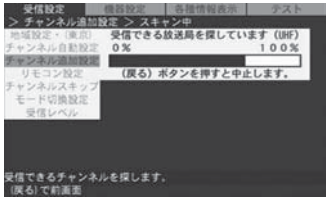
❸ **[▲]/[▼]** を押してチャンネル追加設定を選び、**[決定]** を押す



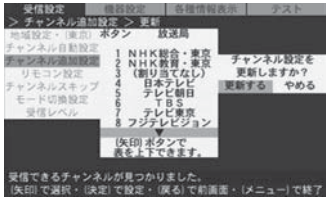
❹ **[▲]/[▼]** を押して探す(UHF 13～62CH)を選び、**[決定]** を押す



- 現在地で受信できるチャンネルを自動で検索し、設定します。



- 見つかった放送局は一覧表示されます。**[▲]/[▼]** を押すと表示をスクロールすることができます。



(次のページにつづきます)

応用操作

❺ **[◀]/[▶]** を押して**更新する**を選び、**[決定]** を押す

❻ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

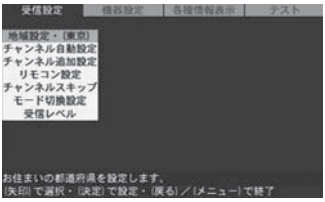
- 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。アンテナの接続をご確認ください（☞ 15 ページ）。
- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合は、再度受信チャンネルの設定を行ってください。

リモコン設定

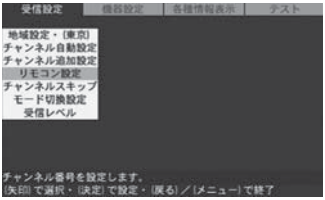
チャンネル（数字）ボタンに設定されている放送局を、別の放送局に変更します。

❶ **[メニュー]** を押す

❷ **[◀]/[▶]** を押して**受信設定**を選ぶ

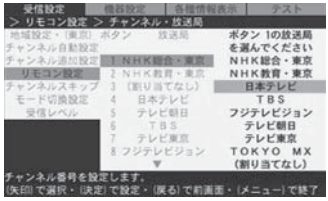


❸ **[▲]/[▼]** を押して**リモコン設定**を選び、**[決定]** を押す

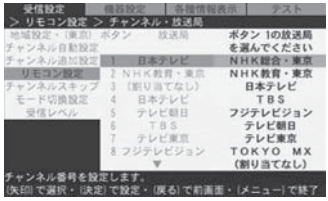


❹ **[▲]/[▼]** を押して変更したいボタン番号を選び、**[決定]** を押す

右側に選択可能な放送局が表示されます。



❺ **[▲]/[▼]** を押して割り当てたい放送局を選び、**[決定]** を押す

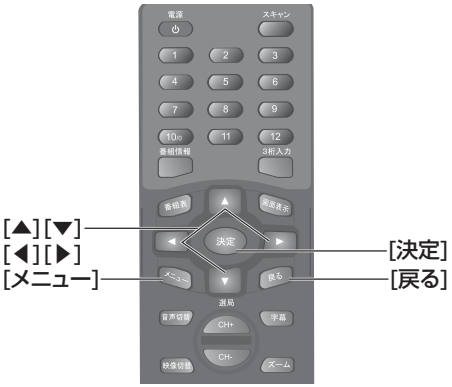


❻ 必要に応じて手順４～５を繰り返す

❼ **[メニュー]** を押して設定を終了する

メニューを使う

受信設定（つづき）



デジタル放送の受信に関する設定を行います。

お知らせ

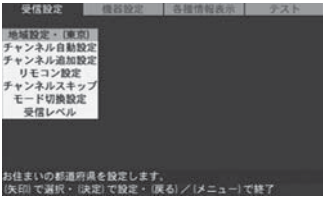
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

チャンネルスキップ

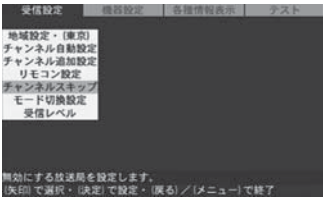
特定のチャンネルを視聴できなくします。

❶ **[メニュー]** を押す

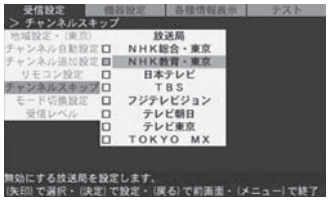
❷ **[◀]/[▶]** を押して 受信設定 を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して チャンネルスキップ を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して視聴できなくしたい放送局を選び、**[決定]** を押す



❺ 必要に応じて手順 4 を繰り返す

❻ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

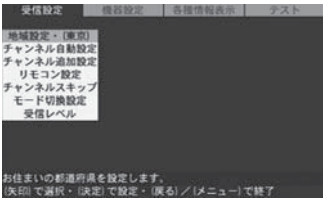
- 手順 4 で選んだ放送局をもう一度選んで **[決定]** を押すと、その放送局のチャンネルスキップは解除されます。
- チャンネルスキップを設定した放送局は、リモコン設定の画面で薄い色の文字で表示されます。

モード切換設定

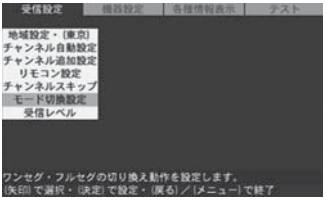
一般の地上デジタル放送（フルセグ）とワンセグの切り替え方を設定します。

❶ **[メニュー]** を押す

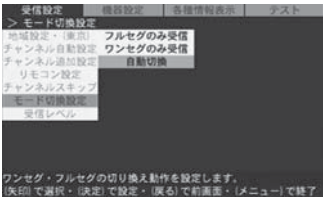
❷ **[◀]/[▶]** を押して**受信設定**を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して**モード切換設定**を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して設定項目を選び、**[決定]** を押す



設定項目

フルセグのみ受信：
フルセグのみ受信します

ワンセグのみ受信：
ワンセグのみ受信します

自動切換：
受信状態に応じて自動で切り替えます

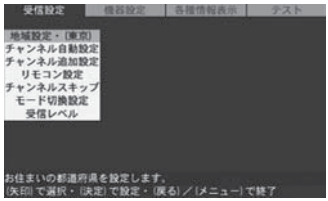
❺ **[メニュー]** を押して設定を終了する

受信レベル

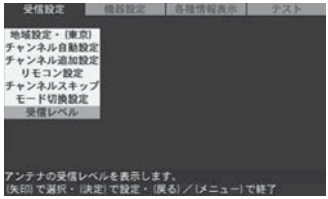
現在の受信レベルの確認をします。

❶ **[メニュー]** を押す

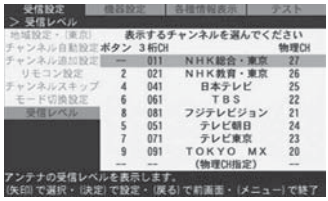
❷ **[◀]/[▶]** を押して**受信設定**を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して**受信レベル**を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して確認したい放送局を選び、**[決定]** を押す

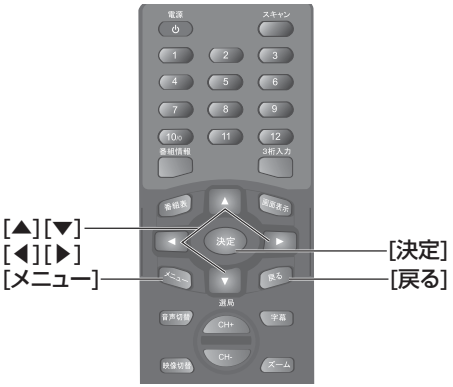


選んだ放送局の受信レベルが表示されます。

（次のページにつづきます）

メニューを使う

受信設定（つづき）

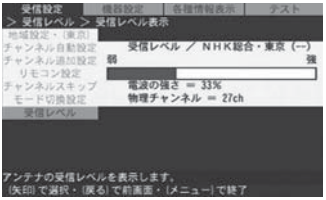


デジタル放送の受信に関する設定を行います。

お知らせ

- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

受信レベル（つづき）



受信レベルの目安（フルセグの場合）

赤色： 映像が正常に映りにくい受信レベル（0 ～ 39%）

黄色： ほぼ正常に映る受信レベル（40 ～ 59%）

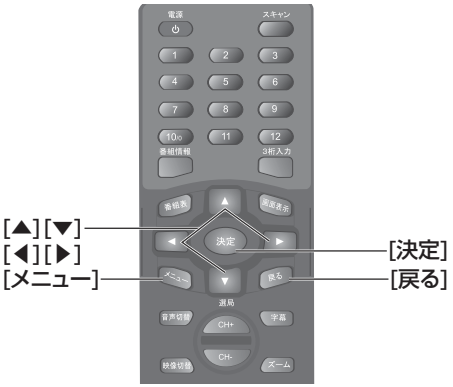
緑色： 正常に映る受信レベル（60 ～ 100%）

❺ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

- 表示される「受信レベル」は絶対的な電波の強さを示すものではありません。
- 受信レベルが赤色で表示され、画面にブロックノイズ（モザイク状の四角いノイズ）が出る場合や、「受信できません」と表示される場合は、まず場所を移動して障害物の少ない場所で再度確認し、それでも改善しない場合はアンテナケーブルの状態を確認してください。受信レベルが上がらない場合は、販売店などにご相談ください。

機器設定



機器の設定を行います。

お知らせ

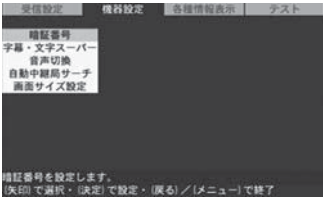
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

暗証番号

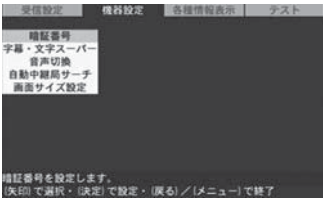
暗証番号を設定します。暗証番号は「全設定消去」（☞ 46 ページ）を行うときに必要になります。

❶ **[メニュー]** を押す

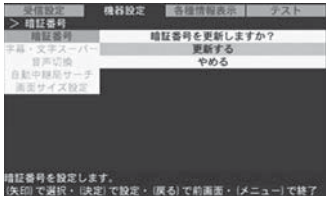
❷ **[◀]/[▶]** を押して 機器設定 を選ぶ



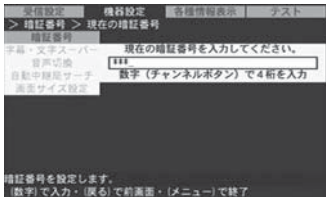
❸ **[▲]/[▼]** を押して 暗証番号 を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して 更新する を選び、**[決定]** を押す



❺ チャンネル（数字）ボタンで現在の暗証番号を入力する

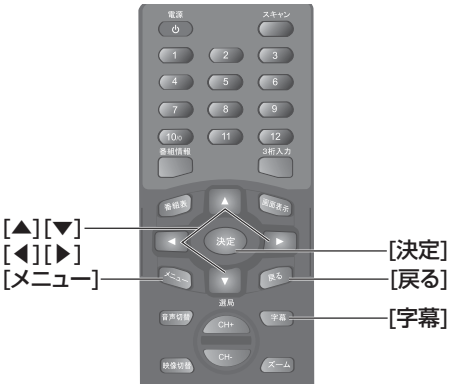


- 工場出荷時は「9999」に設定されています。
- 入力した数字は「＊」と表示さます。

（次のページにつづきます）

メニューを使う

機器設定（つづき）



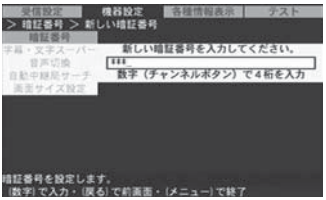
機器の設定を行います。

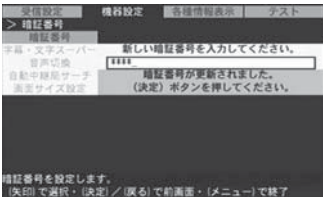
お知らせ

- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

暗証番号（つづき）

❻ チャンネル（数字）ボタンで新しい暗証番号を入力する





「暗証番号が更新されました」と表示されます。

❼ **[決定]** を押す

❽ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

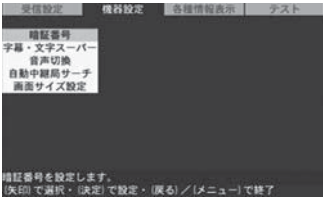
- 暗証番号を変更する場合は、変更した暗証番号をメモするなどして、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。万一、暗証番号がわからなくなった場合はトライウイン・サポートセンターにお問い合わせください。
- 手順 5 で入力した暗証番号が設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います」とメッセージが表示されます。このような場合は、**[戻る]** を押して入力をし直してください。

字幕・文字スーパー

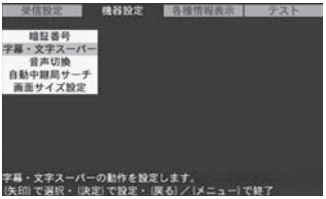
字幕と文字スーパーの表示の設定を行います。

❶ **[メニュー]** を押す

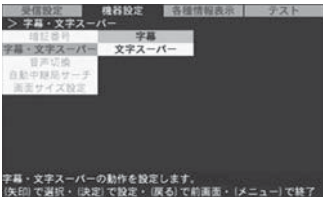
❷ **[◀]/[▶]** を押して**機器設定**を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して**字幕・文字スーパー**を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して**字幕**または**文字スーパー**を選び、**[決定]** を押す



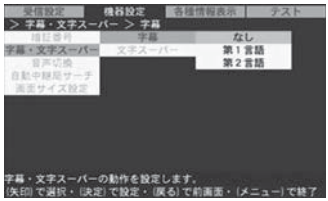
字幕 :
番組中のせりふなどを文字化して画面に表示するものです。

文字スーパー :
地域情報やニュース速報など、番組と連動しない文字情報を画面に表示するものです。

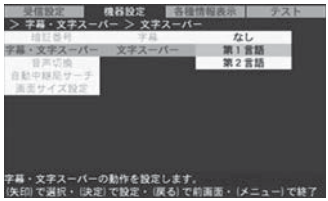
❺ **[▲]/[▼]** を押して表示のしかたを選び、**[決定]** を押す

選択項目は、番組により異なります。

（字幕）



（文字スーパー）



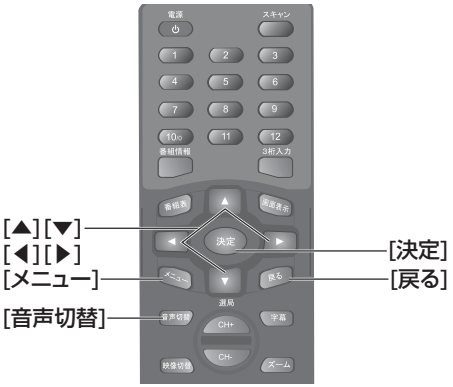
❻ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

- 字幕は **[字幕]** でも変更できます。（☞ 27 ページ）
- 文字スーパーの設定を**なし**に設定していても、緊急警報情報などのように強制的に表示するよう指定された文字スーパーを受信した場合は、これを表示します。

メニューを使う

機器設定（つづき）



機器の設定を行います。

お知らせ

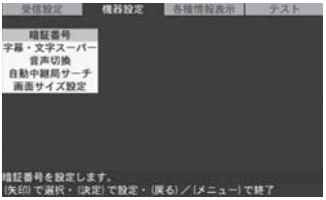
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

音声切換

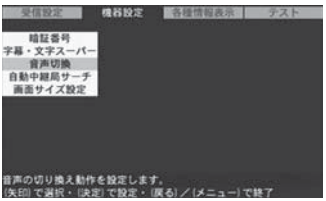
主音声・副音声など、番組ごとに設定された音声を切り替えます。

❶ **[メニュー]** を押す

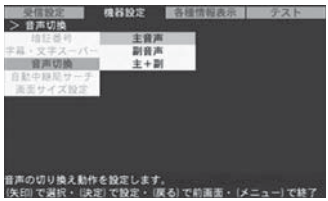
❷ **[◀]/[▶]** を押して 機器設定 を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して 音声切換 を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して音声を選び、**[決定]** を押す



主音声：
主音声が左右の音声出力端子から出力されます。

副音声：
副音声が左右の音声出力端子から出力されます。

主＋副：
主音声、副音声がそれぞれ左または右の音声出力端子から出力されます。

❺ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

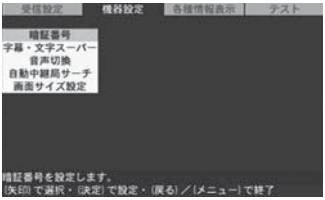
- 音声は **[音声切替]** でも変更できます。（☞ 28 ページ）

自動中継局サーチ

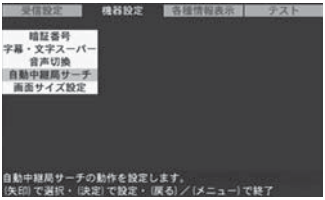
受信中のチャンネルの受信感度が落ちて 1 分以上受信ができなかったときに、自動で別の中継局を探すか探さないかの設定を行います。

❶ **[メニュー]** を押す

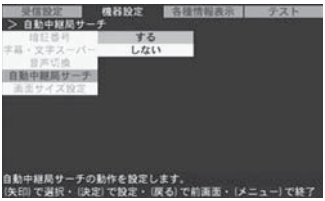
❷ **[◀]/[▶]** を押して**機器設定**を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して**自動中継局サーチ**を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して**する**か**しない**を選び、**[決定]** を押す



する：
受信中のチャンネルの受信感度が落ちたときに、自動で別の中継局を探します。

しない：
自動中継局サーチを行いません。

❺ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

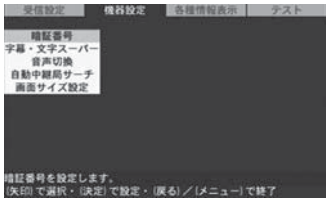
- **[戻る]** を押すと、中継局サーチは解除されます。

画面サイズ設定

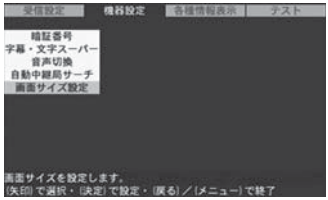
お使いのモニターに合わせて、映像の縦横比を切り替えます。

❶ **[メニュー]** を押す

❷ **[◀]/[▶]** を押して**機器設定**を選ぶ

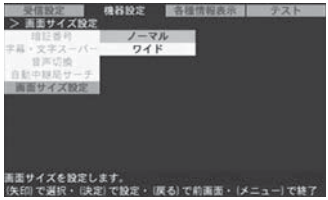


❸ **[▲]/[▼]** を押して**画面サイズ設定**を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して**ノーマル**か**ワイド**を選び、**[決定]** を押す

お使いのモニターに合わせて設定してください。



❺ **[メニュー]** を押して設定を終了する

（次のページにつづきます）

機器設定（つづき）

お知らせ

- 画面サイズ設定に「映像サイズを変更する」（☞ 28 ページ）を組み合わせると、より快適に映像をお楽しみいただけます。
- お使いのモニターの縦横比と受信中の映像の縦横比が異なる組み合わせを選びますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、設定してください。
- 放送を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において本機の画面サイズ設定機能を利用して画面の引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

各種情報表示

本機や mini B-CAS カードの情報などを表示します。

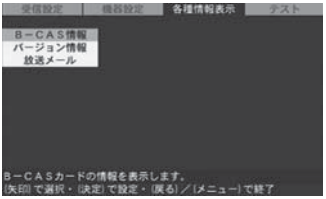
お知らせ

- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

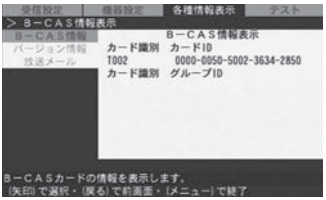
B-CAS 情報

mini B-CAS カードの情報を表示します。

1. **[メニュー]** を押す
2. **[◀]/[▶]** を押して各種情報表示を選ぶ



3. **[▲]/[▼]** を押して B-CAS情報を選び、**[決定]** を押す
   情報が表示されます。

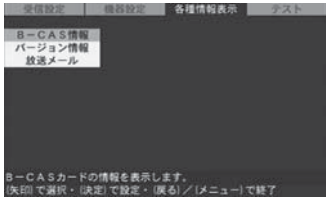


4. **[メニュー]** を押して表示を終了する

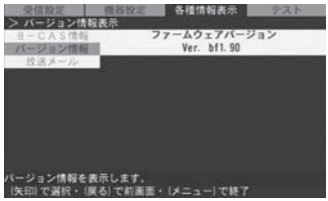
バージョン情報

本機のソフトウエア（ファームウエア）の情報を表示します。

1. **[メニュー]** を押す
2. **[◀]/[▶]** を押して各種情報表示を選ぶ



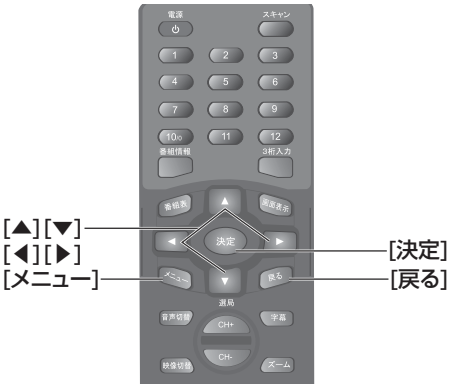
3. **[▲]/[▼]** を押してバージョン情報を選び、**[決定]** を押す
   情報が表示されます。



4. **[メニュー]** を押して表示を終了する

メニューを使う

各種情報表示（つづき）



本機や mini B-CAS カードの情報などを表示します。

お知らせ

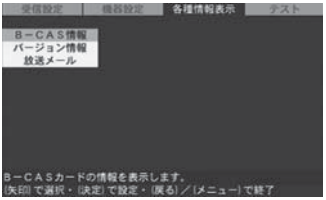
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

放送メール

地上デジタル放送では、放送局からの情報が「放送メール」として送信される場合があります。このメールを表示します。

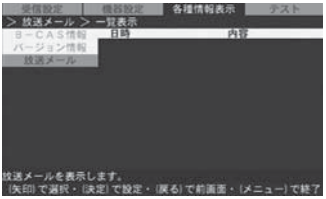
❶ **[メニュー]** を押す

❷ **[◀]/[▶]** を押して 各種情報表示 を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して 放送メール を選び、**[決定]** を押す

受信された放送メールの一覧が表示されます。



❹ **[▲]/[▼]** を押して読みたい放送メールを選び、**[決定]** を押す

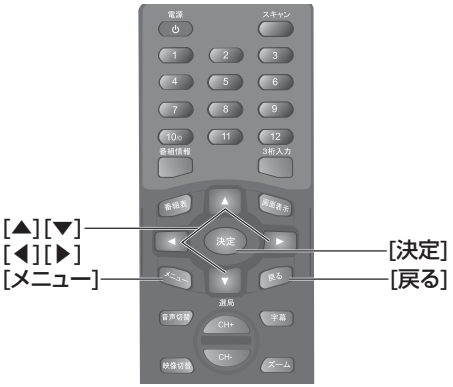
- メールの文が表示されます。
- 一覧に戻るときは **[戻る]** を押してください。

❺ **[メニュー]** を押して表示を終了する

お知らせ

- 放送メールは最大７通まで保存され、以降、古い順に自動消去されますので、定期的にご確認ください。
- 放送メールは手動で削除することはできません。

テスト



mini B-CAS カードのテストや設定の消去を行います。

お知らせ

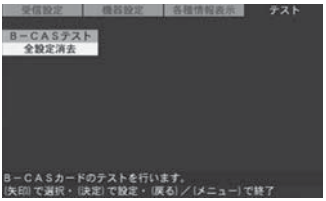
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

B-CAS テスト

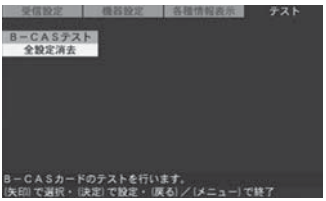
挿入された mini B-CAS カードが使用できるかどうかのテストを行います。

❶ **[メニュー]** を押す

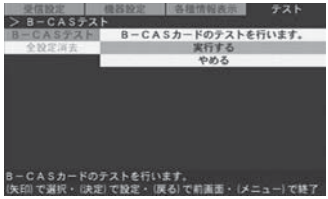
❷ **[◀]/[▶]** を押して テスト を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して B-CASテスト を選び、**[決定]** を押す



❹ **[▲]/[▼]** を押して 実行する を選び、**[決定]** を押す

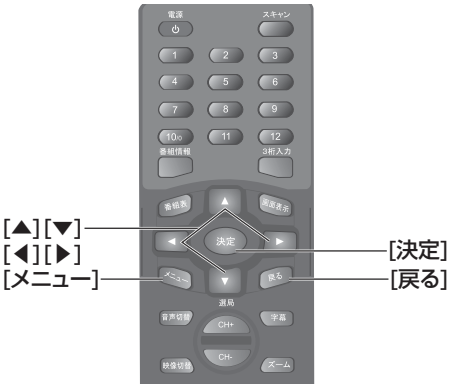


- 「B-CAS カードは問題ありません。（戻る）ボタンを押してください」と表示された場合は問題がありませんのでそのまま使用してください。
- 「B-CAS カードのテストでエラーが見つかりました。」と表示された場合は、本機の電源を切って電源コードを抜き、mini B-CAS カードが正しく挿入されているかご確認ください。（☞ 19 ページ）

❺ **[メニュー]** を押してテストを終了する

メニューを使う

テスト（つづき）



mini B-CAS カードのテストや設定の消去を行います。

お知らせ

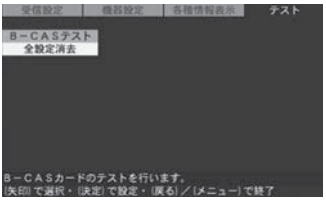
- 設定中に **[メニュー]** を押すと、通常画面に戻ります。
- 設定中に **[戻る]** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 設定の途中で やめる を選択すると、設定を反映せずにもとの画面に戻ります。

全設定消去

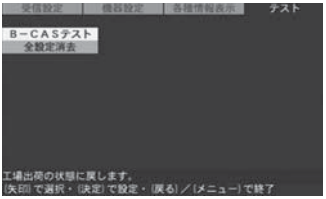
本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

❶ **[メニュー]** を押す

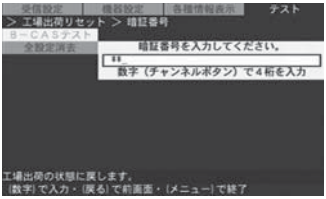
❷ **[◀]/[▶]** を押して テスト を選ぶ



❸ **[▲]/[▼]** を押して 全設定消去 を選び、**[決定]** を押す

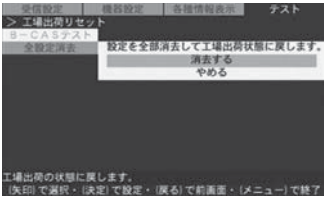


❹ チャンネル（数字）ボタンで現在の暗証番号を入力する



工場出荷時は「9999」に設定されています。

❺ **[▲]/[▼]** を押して 消去する を選び、**[決定]** を押す



❻ **[メニュー]** を押して設定を終了する

お知らせ

- 手順４で入力した暗証番号が設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います」とメッセージが表示されます。このような場合は、**[戻る]** を押して入力をし直してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。
それでもなお異常があるときは、使用を中止してトライウイン・サポートセンター（電話：0570-030-100）までご連絡ください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源コード、リモコン受光部は正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	車のエンジンはかけていますか？（または ACC ON になっていますか？）	エンジンをかけてください。（または ACC ON にしてください。）
	リモコンの **[電源]** を押しましたか？	リモコンの **[電源]** を押してください。
映像も音声も出ない	アンテナが正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	電波の届くエリアですか？	建物の陰など受信できない場合があります。場所を移動してご確認ください。
	接続端子が正しく接続されてますか？	接続を確認してください。
	モニターの入力切換が本機を接続した入力になっていますか？	モニターの入力を、本機を接続した入力に切り替えてください。
途中で電源が切れる	リモコン受光部の接続が外れてませんか？	しっかりと接続してください。
リモコンで操作できない	リモコン受光部は正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を入れてください。
	リモコンの電池が消耗していませんか？または極性が間違っていませんか？	リモコン電池を交換してください。または極性を正しく入れ直してください。
	リモコンと受光部の間に障害物がありませんか？	障害物などのない状態で 3m 以内で操作してください。
	妨害電波などで操作ができなくなる場合があります。	一度エンジンを切り（ACC OFF）、再度エンジンをかけ直して（ACC ON にして）ください。
特定のチャンネルが映らない	受信チャンネルは正しく設定されていますか？	チャンネル設定をし直してください。
	受信地域は正しく設定されていますか？	受信地域の設定をし直してください。
	アンテナが正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	自動中継局サーチは設定されていますか？	「する」に設定してください。
	データ放送は受信できません。	
ブロックノイズ（モザイク状の四角いノイズ）が出る	アンテナが正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	障害物に囲まれていませんか？	お車を移動させてください。
	mini B-CAS カードは正しく挿入されていますか？	挿入し直してください。
電源を入れたときに「プツッ」と音が出る	本機の電源を入れたとき、接続したモニターから「プツッ」と音が出ることがあります。	故障ではありません。
電源を入れても映像がすぐに出ない	起動に多少時間がかかる場合があります。	故障ではありません。
音声は出るが映像が出ない	パーキングブレーキをかけていますか？	正しく接続されている場合、パーキングブレーキをかけないと映像は出ません。
	リモコン受光部の接続が不完全ではありませんか？	しっかりと接続してください。
映像は出るが音声が出ない	モニターの音量が最小になっていませんか？	モニターの音量を上げてください。
	モニターが「消音」状態になっていませんか？	「消音」状態を解除してください。
	モニターのヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか？	ヘッドホンで音声をお楽しみいただくか、ヘッドホンを抜いてください。
電子番組表（EPG）が表示されない。また、一部表示されない番組がある	電源を入れた直後などは番組表データが取得できていないことがあります。	1 分ほど待って操作をし直してください。
	番組視聴中は、視聴中のチャンネルの番組表データだけが更新されます。	情報を表示したい番組のチャンネルに切り替えて、しばらくお待ちください。
字幕や文字スーパーが出ない	字幕の設定や文字スーパーの設定が「なし」になっていませんか？	字幕・文字スーパーの設定をし直してください。
	字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？	字幕や文字スーパーのある番組を選局してください。

メッセージ一覧

メッセージ	内容
「このボタンはチャンネル登録されていません」	放送局が登録されていないチャンネル（数字）ボタンを押したときに表示されます。「 チャンネルスキップ」を設定したチャンネル（数字）ボタンを押した場合もこのメッセージが表示されます。
「このチャンネルは放送されていません」	非放送番組を選局したときに表示されます。
「受信できません」	受信レベルが低下し、受信できないときに表示されます。アンテナが正しく接続されていないときにも表示される場合があります。
「このチャンネルは放送されていません」	選局したチャンネルが「休止中」だったときに表示されます。
「B-CAS カードを確認してください」	mini B-CAS カードが認識されていないときに表示されます。 mini B-CAS カードを挿入した後、スライドロックを戻し忘れていないかご確認ください。
「データ取得中です。しばらく待って操作してください」	受信状態などにより、番組情報が取得できなかった場合に表示されます。
「チャンネル設定を行ってください」	地上デジタル放送の受信設定を行っていないときや、「全設定消去」を行ったときに表示されます。
「緊急放送が開始されました「決定」でチャンネルが切り替わります」	緊急放送が始まったときに表示されます。**[決定]** を押すと、緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
「運転中は TV を見ることができません」	パーキングブレーキが OFF のときに表示されます。

仕様

【本体】

品名	車載用地上デジタルチューナー
型番	DTF-7600
放送方式	地上デジタル放送（日本国内専用）
受信チャンネル	13 CH ～ 62 CH（UHF）
接続端子	アンテナ入力端子：専用コネクター 出力端子 / レベル：3.5 φ ピンジャック（RCA 端子） 映像：1.0 Vp-p/ 音声：700 mVrms 電源端子：専用コネクター リモコン端子：3.5 φ 3 極ジャック
電源電圧	DC 12 V（マイナスアース車専用）
消費電力	6 W（動作時）
動作保証温度範囲	0 ℃ ～ +50 ℃
保存温度範囲	− 15 ℃ ～ +60 ℃
外形寸法	160（W）×22（H）×110（D）mm（突起部を除く）
質量	約 410 g（本体のみ）

【リモコン】

使用電源	DC 3 V（CR-2025×1）
操作距離	リモコン受光部正面から約 3m 以内
外形寸法	53（W）×133（H）×14（D）mm
質量	約 60 g（電池を含む）

- データ放送／双方向サービスには対応していません。
- ハイビジョン番組は標準画質で表示されます。
- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用しているソフトウェアについて

- 本機には、MPL（Mozilla Public License、http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html ）の適用を受けるソフトウェア microwindows（ http://www.microwindows.org/ ）が組み込まれています。
- 本機には、The FreeType Project LICENSE（ http://www.freetype.org/FTL.TXT ）の適用を受けるソフトウェア freetype（ http://www.freetype.org/ ）が組み込まれています。
- 本機では画面に表示されるフォントとして、株式会社リコーが制作した TrueType フォントを使用しています。（TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。）

保証とアフターサービスについて

■ 保証期間について

本機の保証期間はお買い上げ後 1 年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理させていただきます。

■ 修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、トライウイン・サポートセンターにご連絡ください。

トライウイン・サポートセンター
電話：0570-030-100
受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）10：00 ～ 18：00

メモ

〈無償修理規定〉

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）本書のご添付がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（ヘ）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

本書は国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

販売元：株式会社トライウイン

＜修理・お問い合わせ窓口＞

トライウイン・サポートセンター

TEL:(0570)-030-100

E-mail:support@trywin.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）10：00～18：00